

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和5年12月
海老名市立杉久保小学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

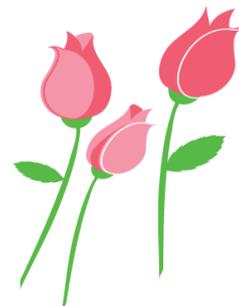
- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 文章の種類とその特徴について比較的理解できています。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことが比較的できています。

◆課題のある点

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られます。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題が見られます。
- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることに課題が見られます。
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られます。
- 全体を通して、自分の考えを整理してまとめ、文章で記述することについて課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 語彙力を高めるために、読書活動推進のほか、国語辞典の活用や言葉集めなどの活動を引き続き計画的に取り入れるようにします。
- 正しい日本語を適切に使うことができるよう、児童も教師も言葉遣いに気を付けて授業に臨めるよう意識づけします。
- 話題を正確にとらえたうえで自らの考えが形成できるよう、話の内容の理解をおさえるための指導の工夫をします。
- 自分の考えをもつ時間を確保したり、作品や文章の叙述に立ち返らせたりしながら、友達との交流の機会を増やし、対話的な学びを通して、根拠に基づいた考えを形成できるようにします。
- 内容を振り返り、自分の考えを形成してまとめる力を育成するため、感想を書くこと等を習慣づけていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 伴って変わる二つの数量の関係について考察し、表から変化を読み取り、表の中の知りたい数を求めることは比較的にできています。
- 正方形の意味や性質について理解しています。
- 計算式の答えを求める等、短答式の問題は、比較的正答率が高いです。

◆課題のある点

- 基準量と比較量、割合を式から求めることや、百分率の理解に課題が見られます。
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を説明することに課題が見られます。
- 理由を言葉で説明したり、誤りを指摘して正しい表現に直したりする等、記述式の問題に対して無解答率が高いです。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 問題場面を正しく把握するための文章題の読み方やとらえ方について、継続的に指導をしていきます。
- 考えを共有する場面では、式や言葉だけでなく、図や表、絵などを用いて、説明する場面を取り入れます。
- 基準量、比較量等の数量の関係をとらえるために、積極的に数直線等を活用し、場面を図や式で表す力をつけるよう指導していきます。
- 図形の性質や面積の学習の指導では、定義を踏まえ、具体的に操作する活動を取り入れることで、体験的な理解を促します。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 国語の学習が好きな児童が神奈川県(以下、県)・全国平均を上回りました。(県比+7.6ポイント・全国比+8.7ポイント) また、国語の勉強が大切だと思うと回答した児童が県・全国平均を上回りました。(県比+6.1ポイント・全国比+7.2ポイント) 多くの児童が国語の授業が大切だと感じています。
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という設問に対し、県・全国平均を上回りました。(県比+8.6ポイント・全国比+9.4ポイント) 多くの児童が、国語の授業の必要性を感じています。
- 「これまで学校の授業以外で英語を使う機会がありましたか」という設問に対し、県・全国平均を上回りました。(県比+3.7ポイント・全国比+8.6ポイント) 児童は英語を生活場面で活用しようとしていることがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 算数の学習意欲についての設問に対し、肯定的な回答が県・全国平均を下回りました。(県比-8.8ポイント・全国比-8.9ポイント) 苦手意識は学力の定着への影響も考えられることから、学習意欲を高める必要があります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問に対し、当てはまると回答した児童が県・全国平均を上回りました。(県比+3.1ポイント・全国比+2.9ポイント)
- 「読書は好きですか」という設問に対し、当てはまると回答した児童が、県・全国平均を大きく上回り(県比+11.6ポイント・全国比+9.5ポイント)、また読書する時間(30分以上)も、県・全国平均を大きく上回りました。(県比+13.5ポイント・全国比+14ポイント) 本校の朝読書の成果であると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という設問に対し、当てはまると回答した児童が、県・全国平均をやや下回りました。(県比・全国比-1.2ポイント) 計画の立て方や具体的かつ効果的な取り組み方を含め、本校の課題です。
- 「友達関係に満足していますか」という設問に対し、肯定的な回答が県・全国平均を下回りました。(県比-6.0ポイント・全国比-6.5ポイント) 友達を含め人間関係の構築に課題が見られます。
- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という設問に対し、当てはまると回答した児童が県・全国平均を下回りました。(県比-6.5ポイント・全国比-11.8ポイント) コロナ禍で行事が行えなかったことが影響しています。

今後の具体的な取組について

- 自分の得意なことを伸ばすためにも、苦手を克服するためにも、まず長期目標を立て、その実現に向けた短期目標を決めて取り組めるようにします。
- 各教科・領域の指導では、学習の見通しをもたせ、計画的に学習を進めることや、学習の自己調整力を身につけることができるよう工夫します。
- 様々な友達との関わりを深められるよう、人間関係づくりの取り組みを進めていきます。

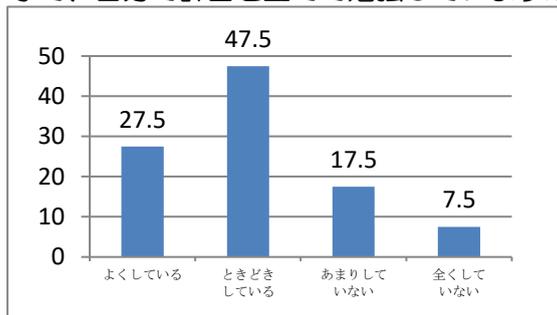
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 学習の計画を立てて、勉強しましょう。

10分×学年（6年生は60分）を目安として計画し、毎日継続して家庭学習に取り組みましょう。平日の放課後や土日にも、自分で課題を見つけて学習したり、予習や復習をしたりすると基礎学力の定着につながります。

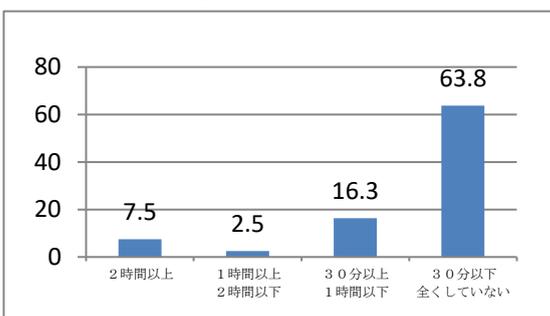
家で、自分で計画を立てて勉強していますか



2 タブレットを使った学習に積極的に取り組みましょう。

杉久保小学校では、タブレットを毎日持ち帰るようにしています。（3～6年生）家庭学習でもタブレットを積極的に使いましょう。1～2年生は、3学期よりタブレットを毎日持ち帰ります。

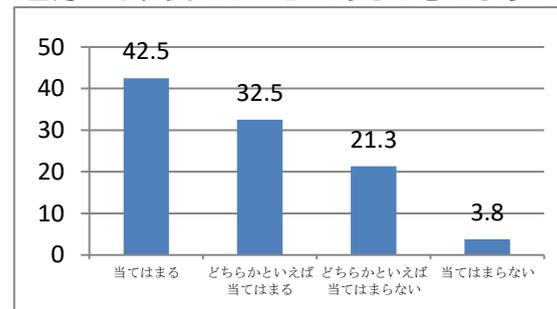
学校の授業時間以外にタブレット等のICT機器を勉強のために使っていますか



3 引き続き、良いところを見つけて、伝えましょう。

自分の良さを知り、自分を認めることは強い心につながります。これからの時代をたくましく生きていく力を育てるために、引き続き子どもの良いところを認め、伝えていってください。

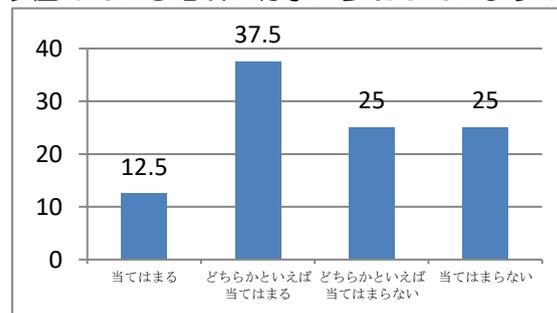
自分には、良いところがあると思いますか



4 地域の行事に、積極的に参加しましょう。

ここ数年、コロナ禍で地域の行事があまり行われていませんでした。地域の行事に参加したり、家族で地域について話したりして、地域とつながる機会をつくりましょう。

今住んでいる地域の行事に参加していますか



文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施
 - 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
 - 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)
2. 英語の学習指導の改善・充実
 - 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
 - 科学技術人材の育成
3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進
 - 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
 - 切れ目のない研修コンテンツの提供
4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進
 - 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進
5. 学校における指導・運営体制の充実
 - 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
 - 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実
6. 調査結果を活用した追加分析等
 - 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
 - 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、
えびなっ子ひとりひとりの
学びを保障する教育をめざします**



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係